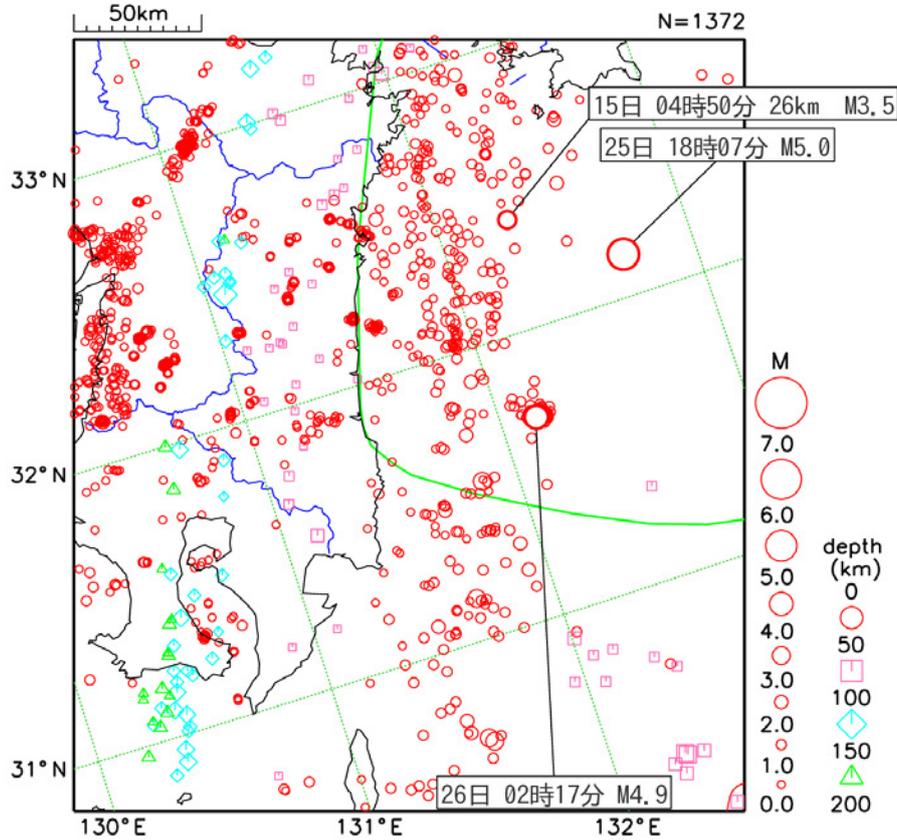


宮崎県の地震活動概況 (2026年2月)

令和8年3月5日
宮崎地方気象台

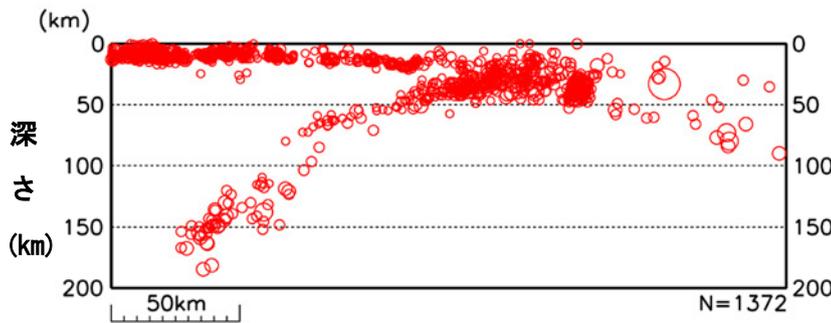
【地震活動の概要】

2月に宮崎県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回(1月は5回)でした。



震央分布図 (2026年2月1日~28日、M0.0以上、深さ200km以浅)

地震の規模(マグニチュードM)は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。
宮崎県で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



断面図 (震央分布図の投影、深さ200km以浅)

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを使用しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成している。

15日 日向灘を震源とする地震

15日 04時50分に発生したM3.5の地震（深さ26km）により、宮崎県の延岡市、川南町、門川町で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図3領域b）は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2025年7月3日にM4.0の地震（深さ38km、最大震度2）が発生し、宮崎県では延岡市、高千穂町で震度1を観測しました。

また、2022年1月22日にM6.6の地震（深さ45km、最大震度5強）が発生し、宮崎県では延岡市、高千穂町で震度5強を観測しました（図2～4）。

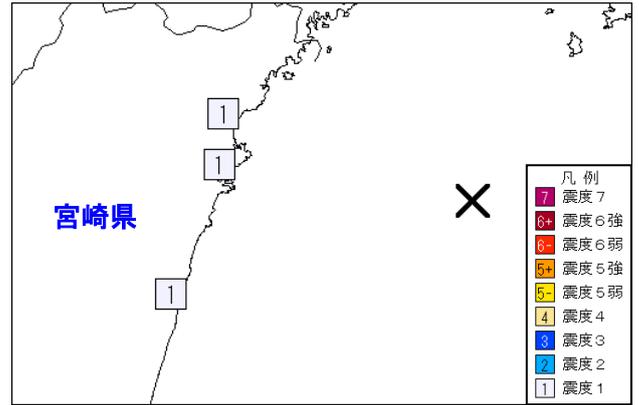


図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

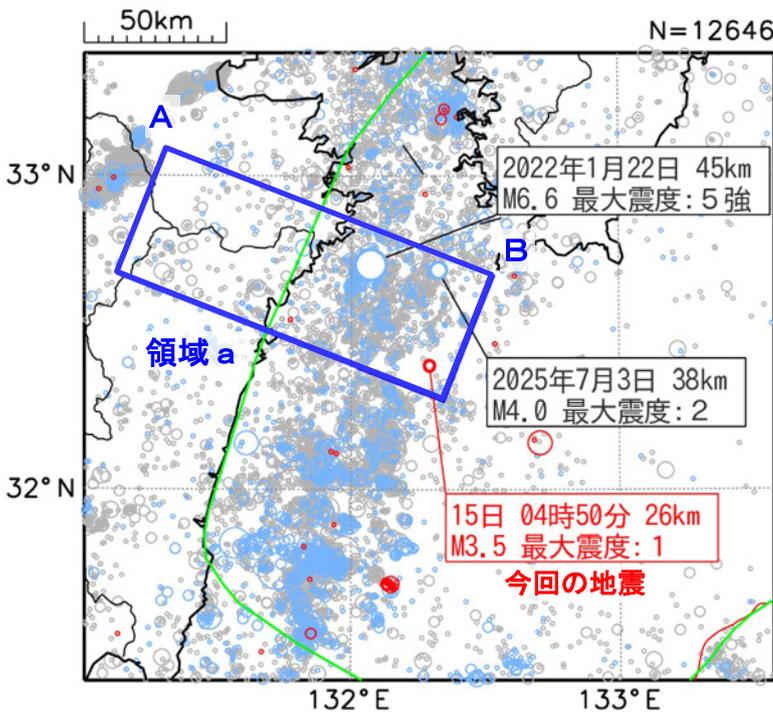


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2026年2月28日、深さ0～100km、M≥2.0)

※2022年1月22日以降の地震を薄青色で、2026年2月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

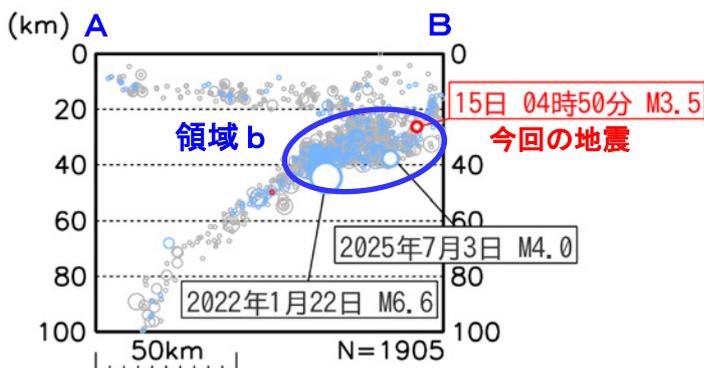


図3 図2領域a内の断面図（A－B投影）

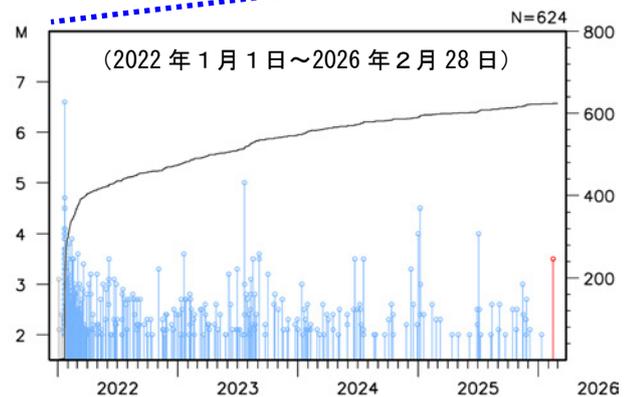
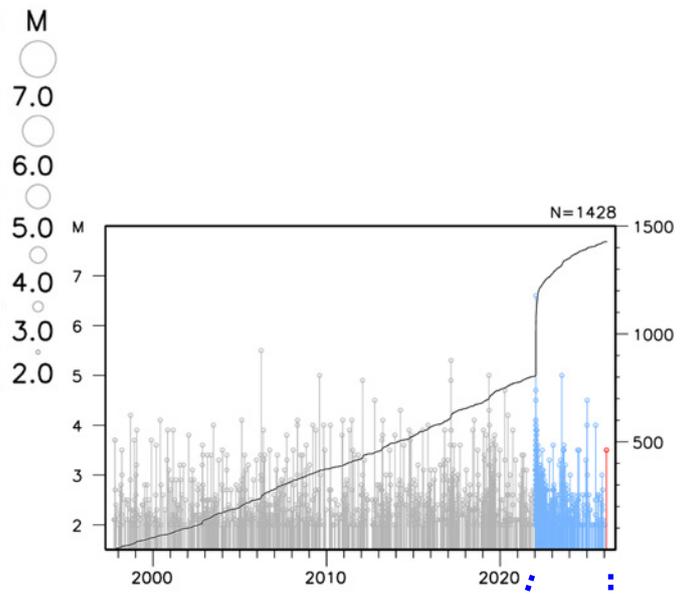


図4 図3領域b内の地震活動経過図および回数積算図

25日 四国沖を震源とする地震

25日 18時07分に発生したM5.0の地震により、宮崎県の延岡市、門川町、高千穂町、美郷町、大分県の佐伯市、竹田市、熊本県の高森町、美里町、産山村で震度2を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度1を観測しました(図5)。

今回の地震の震央付近(図6領域a)において、宮崎県内で震度1以上を観測したのは、地方公共団体(宮崎県)の震度データの活用を開始した1998年10月15日以来初めてです(図6~7)。

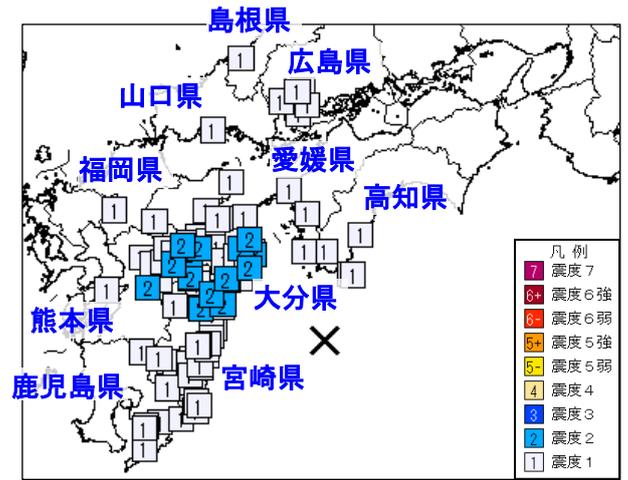


図5 震度分布図 (観測点別、×:震央)

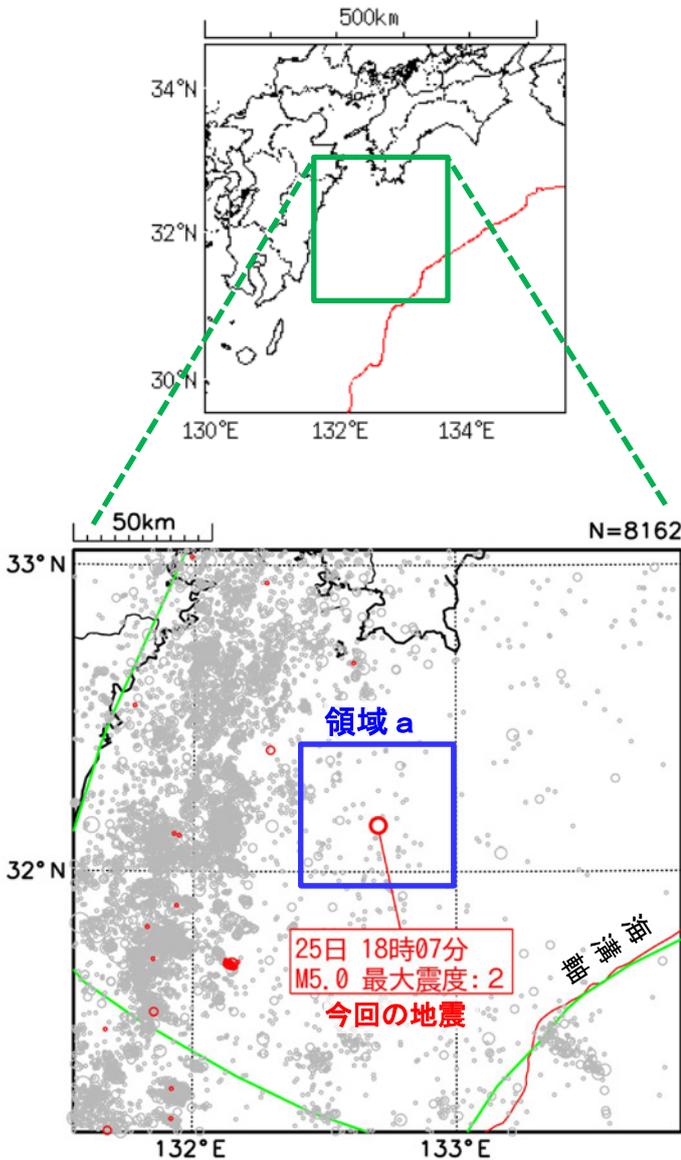


図6 震央分布図

(1997年10月1日~2026年2月28日、深さ0~60km、M≥2.0)

※2026年2月の地震を赤色で表示

緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

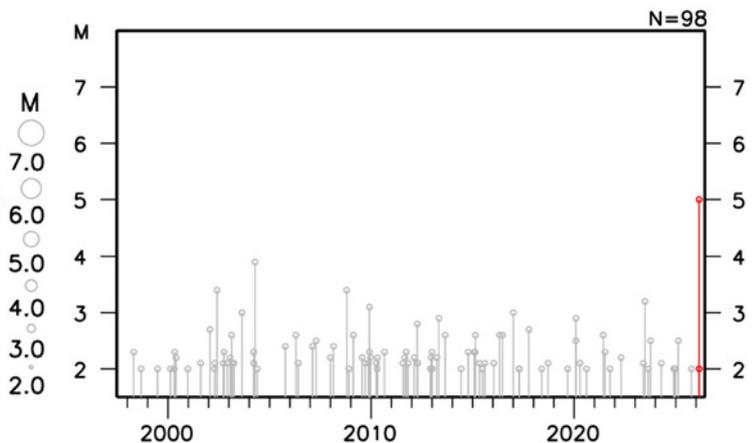


図7 図6領域a内の地震活動経過図

26日 日向灘を震源とする地震

26日 02時 17分に発生したM4.9の地震により、宮崎県の日南市、串間市で震度3を観測したほか、宮崎県、鹿児島県、大分県、熊本県、佐賀県で震度2～1を観測しました(図8)。

今回の地震の震央付近(図9領域a)は、日頃から地震活動がみられる領域で、最近では、2025年12月7日にM4.2の地震(最大震度1)が発生し、県内では日南市、串間市、宮崎市、西都市、都城市、小林市などで震度1を観測しました。

また、2019年5月10日には、M6.3の地震(深さ25km、最大震度5弱)が発生し、宮崎県の宮崎市、都城市で震度5弱を観測しました。

なお、図9領域bでは2024年8月8日にM7.1の地震(最大震度6弱)が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測しました(図9～11)。

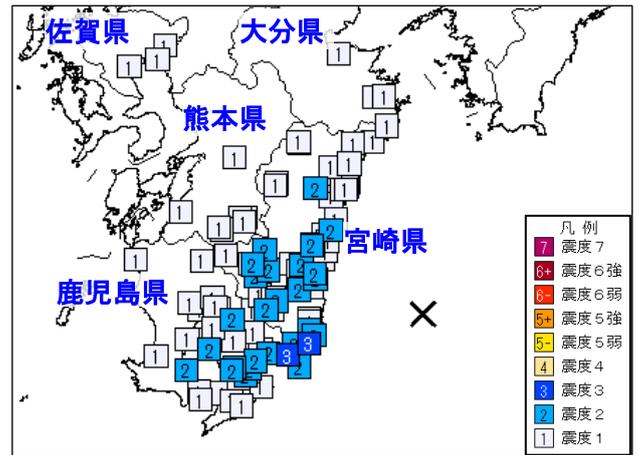


図8 震度分布図(観測点別、×:震央)

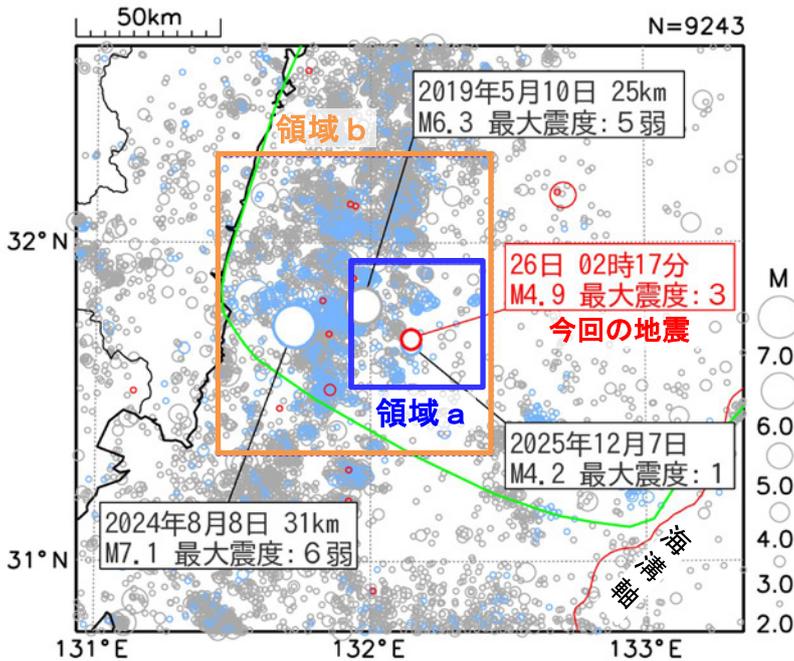


図9 震央分布図
 (1997年10月1日～2026年2月28日、
 深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
 ※2024年8月8日以降の地震を薄青色で、
 2026年2月の地震を赤色で表示
 緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示しています。

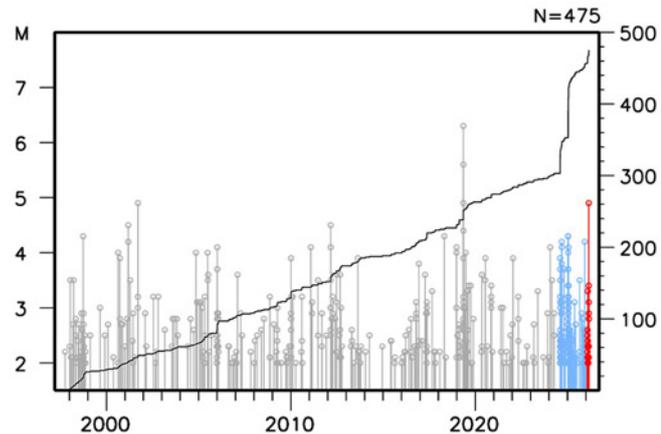


図10 図9領域a内の地震活動経過図および回数積算図

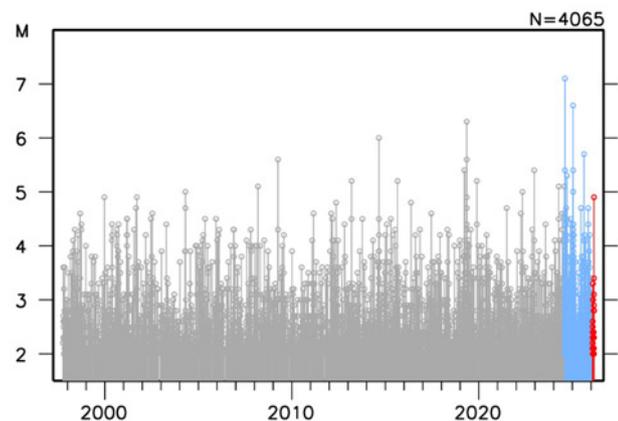


図11 図9領域b内の地震活動経過図

宮崎県内で震度1以上を観測した地震の表 (2月1日~28日)

震源時 (年月日時分) 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ マグニチュード*
2026年02月15日04時50分 震度 1 : 延岡市天神小路, 川南町川南*, 門川町平城東*	日向灘	32° 23.6' N	132° 17.5' E	26km M3.5
2026年02月25日18時07分 震度 2 : 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町総合支所*, 門川町平城東* 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代* 震度 1 : 延岡市天神小路, 延岡市北川町総合支所*, 延岡市北浦町古江* 日向市大王谷運動公園, 日向市東郷町山陰*, 西都市上の宮*, 西都市聖陵町* 高鍋町上江*, 新富町上富田, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 椎葉村総合運動公園* 高千穂町寺迫*, 日之影町七折*, 宮崎市霧島, 宮崎市松橋*, 宮崎市田野町体育館* 宮崎市高岡町内山*, 宮崎市佐土原町下田島*, 日南市油津, 日南市吾田東* 日南市南郷町南町*, 日南市中央通*, 串間市役所*, 国富町本庄*, 都城市菖蒲原 都城市山之口町花木*, 小林市真方, 小林市野尻町東麓*, えびの市加久藤* 三股町五本松*	四国沖	32° 08.9' N	132° 42.2' E	33km M5.0
2026年02月26日02時17分 震度 3 : 日南市南郷町南町*, 串間市役所* 震度 2 : 西都市上の宮*, 川南町川南*, 宮崎美郷町田代*, 宮崎市霧島, 宮崎市松橋* 宮崎市田野町体育館*, 日南市油津, 日南市吾田東*, 日南市中央通*, 串間市奈留 串間市都井*, 国富町本庄*, 都城市菖蒲原, 都城市山之口町花木*, 小林市真方 小林市中原*, 小林市野尻町東麓*, 高原町西麓* 震度 1 : 延岡市天神小路, 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北浦町古江*, 延岡市東本小路* 延岡市北方町総合支所*, 日向市亀崎, 日向市大王谷運動公園, 日向市富高* 日向市東郷町山陰*, 西都市聖陵町*, 高鍋町上江*, 新富町上富田, 宮崎都農町役場* 門川町平城東*, 木城町高城*, 椎葉村総合運動公園*, 椎葉村下福良* 高千穂町三田井, 高千穂町寺迫*, 宮崎市高岡町内山*, 宮崎市田野支所* 宮崎市清武町西新町*, 宮崎市佐土原町下田島*, 日南市北郷町大藤 日南市北郷町郷之原*, 綾町南俣健康センター*, 綾町役場*, 都城市高城町穂満坊* 都城市山田町山田*, 小林市役所*, えびの市加久藤*, 三股町五本松*	日向灘	31° 41.8' N	132° 08.8' E	42km M4.9

使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

*は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

南海トラフ地震 ～その時に備えて～

今から 15 年前、2011 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)が発生し、強い揺れと高い津波により東日本に甚大な被害をもたらしました。西日本でも「南海トラフ地震」により大きな被害が生じるおそれがあります。

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、概ね 100～150 年間隔で繰り返し発生し、大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

前回の南海トラフ地震が発生してから約 80 年が経過しており、次の南海トラフ地震発生 of 切迫性が高まっています。

次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。

南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合等に、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

政府や地方公共団体からの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

ただし、南海トラフ地震の発生は不確実性を伴うため、情報が発表されても地震が発生しない場合や、情報の発表がないまま突発的に南海トラフ地震が発生する場合も考えられます。このため、南海トラフ地震に適切に対応するためには、日頃から地震への備えをしておくことが重要です。

自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



南海トラフ地震臨時情報

キーワード

- 調査中
- 巨大地震警戒
- 巨大地震注意
- 調査終了

- (発表条件)
- 南海トラフ沿いで観測された異常な現象と南海トラフ地震との関連性について調査を開始した場合、または調査を継続している場合
 - 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
 - 南海トラフ沿いで観測された異常な現象と南海トラフ地震との関連性について調査を開始した場合、または調査を継続している場合
 - 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw8.0 以上の地震が発生したと評価した場合
 - 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において Mw7.0 以上、Mw8.0 未満の地震が発生したと評価した場合
 - 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で Mw7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
 - 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界面でひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりにすべりが観測されたと評価した場合
 - 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合
 - 南海トラフ沿いで観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
 - 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合(ただし臨時情報を発表する場合を除く)
- ※すでに必要な対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります

南海トラフ地震関連解説情報



地震の発生に備えよう

<input type="checkbox"/> 家具の固定 	<input type="checkbox"/> 非常用持ち出し袋の準備 	<input type="checkbox"/> 水や食料の備蓄
<input type="checkbox"/> 避難場所や避難経路の確認 	<input type="checkbox"/> 感震ブレーカーの設置 コンセントタイプ 分電盤タイプ(後付型) 	<input type="checkbox"/> 建物の耐震化

南海トラフ地震に関することは、以下の気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/nteq/index.html>